麦作情報（小麦） R5年産 No.3

令和４年１０月１３日
湖北農業農村振興事務所 農産普及課
（湖北農業普及指導センター）

まもなく小麦の播種時期です
排水対策を行い適期に播種しましょう

1. 早播きは病害や凍霜害を助長します！

早播きは、黒節病や縞萎縮病の発生を助長するだけでなく、茎立ちが早まり、穂数不足や凍霜害による収量低下につながります。特に昨年、黒節病や縞萎縮病が多く発生した地域は、11 月以降に播種しましょう。

「びわほなみ」は「農林 61 号」よりも早く出穂する品種です。凍霜害を避けるため、適期の範囲内で遅播きしましょう。

表１ 播種適期の目安

品種	播種適期
農林 61 号	10 月 25 日～11 月 10 日
びわほなみ（中間・山間）	11 月 1 日～11 月 16 日
びわほなみ（湖辺・平坦）	11 月 5 日～11 月 20 日

2. 播種が遅れた場合は播種量を増やす！

播種が遅れた場合は、播種量を増やし、苗立数を確保しましょう。目標苗立数は 150～200 本/㎡（条間 25cm の場合、1m に 40～50 本程度が目安）です。また、排水不良のほ場では発芽率が低下するため、播種量を１kg/10a 程度増やしましょう。

表２ 播種量の目安

播種時期	播種量（/10a）
表１の播種適期内	8～9 kg
播種適期より遅れた場合	9～10kg

3. 排水対策と土壌の酸度矯正を忘れずに！

播種精度や発芽率向上のため、事前に排水溝を設置し、雨水がスムーズに排水されるよう準備しましょう。また、初期生育安定のため、アルカリ資材を散布し、小麦の生育に適した土壌 pH 6.2～6.9 に矯正しましょう。

溝のつなぎ目の部分は必ず連結する